

生徒アンケート

令和2年度

I C T 機 器 活 用		1 先生がICT機器（TVモニターや電子黒板等）を使う授業は分かりやすかった。				第1回	第2回		
		そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	思わない				
I C T 機 器 活 用	第1回	63%	31%	5%	0%	63%	31%		
	第2回	66%	28%	4%	1%	66%	28%		
	2 生徒がICT機器（タブレット等）を使う授業で理解が深まった。	第1回	45%	43%	9%	0%	45%	43%	
		第2回	60%	34%	5%	1%	60%	34%	
	I C T 機 器 活 用	3 生徒同士でICT機器（タブレット等）を使って情報を共有する授業で理解が深まった。	第1回	57%	30%	9%	4%	44%	39%
			第2回	58%	25%	8%	8%	50%	35%

令和3年度

I C T 機 器 活 用		1 先生がICT機器（TVモニターや電子黒板等）を使う授業は分かりやすかった。				第1回	第2回		
		そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	思わない				
I C T 機 器 活 用	第1回	61%	31%	5%	2%	61%	31%		
	第2回	51%	38%	8%	1%	51%	38%		
	2 生徒がICT機器（タブレット等）を使う授業で理解が深まった。	第1回	58%	30%	11%	1%	58%	30%	
		第2回	46%	40%	11%	2%	46%	40%	
	I C T 機 器 活 用	3 生徒同士でICT機器（タブレット等）を使って情報を共有する授業で理解が深まった。	第1回	64%	24%	9%	3%	64%	24%
			第2回	76%	19%	3%	1%	76%	19%

<成果>主体的、対話的で深い学びの実現に近付いた

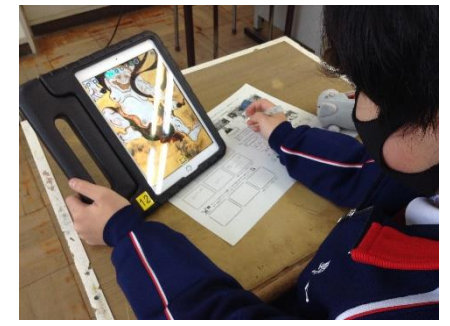
生徒のアンケート結果から、視覚的に分かりやすく、理解が深まると感じる生徒が増加した。
生徒がICT機器を活用して調べた内容をまとめたりする活動を通し理解が深まり、主体的で深い学びを実現することができた。

<課題>インターネット環境の整備を求めていく

令和3年度は、アンケート結果の『先生がICTを活用する授業は分かりやすかった』『生徒がICT機器を使う授業で理解が深まった』の割合が減っている。これは、一人1台端末になり、複数の教室で同時にタブレットPCを活用する場面が増え、ネットワークが不安定になり、つながらず授業がストップすることが頻発したためだと考えられる。インターネット環境の改善を求めていくとともに、様々な場面を想定して授業をデザインしていく必要がある。

主体的・対話的で深い学びの実践

～ ICT機器を活用した授業改善～



「主体的・対話的で深い学びの実践～ICT機器を活用した授業実践～」を通して「確かな学力」を生徒に身に付けさせるために、市の研究指定を受け、実践してきた。

学習目標を達成するために、ICT機器の活用能力を重要な授業技術の一つと位置付け、全教員が主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を実践することで、生徒の学力向上を目指して取り組んだ。



様々な取組み



- ・教室のテレビモニターにワイヤレスディスプレイアダプターを設置し、無線でタブレット接続を可能に
- ・一人一台端末の活用を促進するためのマニュアルの作成
- ・GIGAスクールだよりの作成
- ・各クラスにIT係を設置 等



無線でモニターに接続



フォームを動画で撮影



記入した意見を撮影し共有



シミュレーションソフトの活用



課題動画を繰り返し再生し学習



他の人の発表をタブレットで鑑賞



タブレットを用いて意見交換



画面を合体して発表



同じ資料を見ながら意見交換



プレゼンテーション



提出したノートの全体共有



アンケート機能を用いてディベート



生徒の作った問題を共有する



タッチペンを用いて書き込み



タブレットを用いた作図



IT 委員会の教員から操作説明



二次元コードを読み取る練習



グループ演習



Teams を用いた授業参観



オンライン学習の方法を学ぶ